

どうしたら勉強の効果が上がるか

開倫塾

塾長 林 明夫

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。お陰様でこの秋で開倫塾を創業して25年になります。ですが、塾にくる方の悩みは25年前と今も同じですね。どのような悩みかという、勉強の仕方が分からない。長い時間勉強をすることができない。これらが塾生・保護者のお話を聞いた中で最も多かったです。ですから、どうしたら勉強の効果が上がるかが、この開倫塾の時間をはじめてから17年間の最大のテーマとなっています。では、どのようにしたらよいかについてお話させていただきます。基礎的なことをお話して恐縮ですが、勉強には3段階あります。その最初の段階が「うん、なるほど」と腑に落ちる「理解」の段階です。学校の授業や読書などで「うん、なるほど。こういうことだったのか。」と分かることです。例えば、今、郵政公社の民営化を進めていますが、なぜ民営化が必要なのかについて、「うん、なるほど」と物事の本質を分かることを理解といいます。問題なのはその後です。人間は悲しいことに一度理解したことでもすぐに忘れてしまいます。ですから、忘れないためにはどうしたらよいか。次の段階の一度理解したことは何も見ないでスラスラ口をついて言える。正確に楷書で書ける。簡単な計算や問題は見た瞬間に答えが出せる。この「定着」の作業を意識的に行うことです。定義は学校や塾の授業中には時間がなくてなかなかできないので、これは自分でやるしかありません。そこで大事なことは何も見ないでスラスラ口をついて言える。正確に楷書で書けるなどができるようになるための作業をすることです。これには膨大な時間が必要です。つまり膨大な時間をかけて作業をした人が理解したことを定着させられるのです。ですから、定着のための作業時間が大事になります。定着をはかるためには雑音を排除して、静かに勉強することです。じーっと我慢してコツコツ勉強をすることです。コツコツ勉強する時間を5分でも10分でも増やすことを考えるべきです。勉強は電車の中、休み時間、トイレの中、机に向かってするのが一番良いのですが、どこでもできます。定着には、反復練習が大事ですので時間を有効に使い、定着の作業のための時間を作って下さい。試験や日常生活に役に立てるには「応用」が必要です。

「応用」のためには何をすればよいかというと、試験の場合は過去に出題された問題をたくさん解いて、できない問題は「理解」「定着」のどこに原因があったのか分析して、そこを徹底的に直していくことです。これが一番早い方法です。放送をお聴きの皆さんには、学習には3段階あり、その段階に応じた勉強方法をしてほしいと思います。「理解」は学校の授業をきちんと受けることや読書をするのが大事です。これはできると思いますが、問題は「定着のための作業時間」があっという間に不足していることが原因で身に付かないことです。ですから、是非定着のための作業時間を長く取るにはどうしたらよいか考えて下さい。そうすれば成績はどんどん上がり、自分の未来もどんどん開けていきます。ご家族の方もどうすればお子さんが長い時間机の前に座って勉強できるかお考え下さい。長い時間勉強すれば必ず力はつきます。